

4 受講生・保護者・学校の先生の声～養成塾を終えて～

No.	氏名	学校名	学年	ページ
1	長谷川 温菜	遺愛女子高等学校	2	8～9
2	丸山 日向子	遺愛女子高等学校	1	10～11
3	福本 あめり	札幌聖心女子学院高等学校	3	12～13
4	植本 空楽	北星学園女子中学高等学校	3	14～15
5	木下 美那	北星学園女子中学高等学校	3	16～17
6	清水 桜	北星学園女子中学高等学校	3	18～19
7	伊藤 溪花	北海道登別明日中等教育学校	2	20～21
8	竹谷 海音	北海道登別明日中等教育学校	2	22～23
9	伊藤 胡晴	北海道幕別清陵高等学校	3	24～25
10	工藤 凜	立命館慶祥高等学校	2	26～27
11	白間 あかね	立命館慶祥高等学校	2	28～29

※学校名、氏名の五十音順

長谷川 温菜 さん

(遺愛女子高等学校 2年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

毎日、アジア・ハイスクール・サミットに向けて議論したことです。「戦争はなくせるか。」と一筋縄ではいかないテーマでした。2週間、1つのテーマに対して議論するという密度の濃い時間を過ごすことができました。自分の意見を相手に正確に伝えることの難しさを感じました。言葉の定義、解釈の仕方は人それぞれ違っているので、相手に上手に自分の意見を伝えるためには自分が持っている言葉の定義を理解してもらう必要があると思いました。その時は、大変でしたが振り返ってみるとクラスメイトと議論しているときが一番楽しかったと印象に残っています。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

柿田 富美枝さんの「被爆二世からのメッセージ」です。被爆者の話を直接聞くことができるのが最後だと言われている今、自分たちは何ができるのかと考えさせられました。講義の中で、「今日の聞き手は明日の語り手」という言葉が印象的でした。ただ受け身で聞き手のままでいたら、現状は何も変化することなく改善もされないの、講義の中で学んだことや本を読んで知ったことを学校だったり、周りの人に話して、共有することが重要だと思いました。養成塾に参加する前から、戦争についての本を読んだり反戦映画を観たりして学んでいたの、この学びに楔を打ちこむことが出来ました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

得たことは、以前よりも自分の意見を言語化できるようになって周りに躊躇せず自分の意見を伝えられる力です。参加前より人前での発表に程よい緊張感で挑むことができるようになりました。発表する機会が沢山あったからだと思います。

感じたことは、クラスみんなで躊躇せずに話せる居心地の良い雰囲気を作り上げていって、結果として一人一人のモチベーションを上げていったのだということです。クラスメイトと一から作り上げていく達成感を感じることができました。これから、養成塾の経験を糧に目標に向かって、努力を惜しまずに頑張っていけると思いました。

ここでできたつながりを今年で終わらせず、一生ものにしていきたいと思います。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

養成塾で得た知識や経験はこれからのすべてに通ずるものだと思うので、日々、意識して生活していきたいです。常に色々な事柄に疑問を持ち、考える続ける力を培いたいです。同じクラスで色々なことに疑問を持ってはノートにまとめて自分なりに答えを出すという習慣を持っている人がいました。自分の思考回路が可視化されるこの習慣を私も身につけたいです。まずは、養成塾で知れたこのことを活かして、思考習慣を身につけます。また、大学に進学したら、養成塾での経験をきっかけとして日本に限らず色々な環境に身を置き、自己研鑽に励みたいと考えています。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

私の住んでいる函館には、観光エリア（西部地区）で進んでいる人口減少が問題の1つとなっています。国勢調査によると函館市の人口が最多であった1980年は44,478人でしたが2022年になり17,733人と60.1%減少となっています。原因として、利便性や若者の都市部への流出があると思います。講義の中で佐賀県知事の山口さんが「自分の育った場所の良いところを沢山見つけること」の重要性を仰っていました。若者の流出を減らすために、学生たちで地元が抱える問題を議論し、当事者意識を高めることが必要だと思います。実際に議論することで、他人事ではなく自分事として地元を見つめ直すことができると思うからです。いかに自分事として物事を捉えることができるかが鍵になってくると私は考えます。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

今回の養成塾で志の高い同年代の人たちから刺激をもらい、自分の未熟さを痛感しました。今後の目標は、誰かが挑戦したいと思えるきっかけになることです。養成塾でできた仲間や卒塾生の先輩に支えてもらったように、これからは私も挑戦する人を支え、応援できるような人になりたいです。また、講義で「外国に行くことで初めて日本を知れる。」「留学して日本をみつめる。」と学びました。今までは、外国を知るために外国に行くと考えていました。ですが、意識を変えることで見えてくるものも変わってくると思うので、次回 海外に行くときの課題とします。

留学の重要性を知り、大学在学中に留学したいという気持ちがより明確になりました。

★保護者の方から

初めて2週間という長い期間、親元から離れ生活しました。本人もはじめは不安もあったと思いますが日ごとに話し合える友人ができ、毎日色々な方の講義を聞き、楽しく充実した時間だったようです。同世代の子が自分よりも知識に富んでいて発想力が豊かなことに衝撃を受け、今の自分には何が足りていないのかを認識でき、今後の自分に必要なことが見つかったようです。このような貴重な経験ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

★学校の先生から（遺愛女子高等学校 星野 夏美 先生）

とても良い経験になったようで、周りの友人たちにも行った養成塾のなかで行った活動や、新しくできた他校の友人たちについて話している姿を見かけた。その話を聞いた他の生徒たちも、同年代で積極的に活動している人たちの存在を知り、とても良い刺激を受けている様子だった。また、参加した本人も将来の目標が明確になり、その目標から逆算してまずは学校生活をしっかり送り、学習に励むことが自分にとって大切だと改めて感じたようだった。

丸山 日向子 さん

(遺愛女子高等学校 1年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

私は今までこのようなディスカッションをしたことがなく、人前で話すことが苦手でした。

しかし、学生リーダーの方々、先生方などがものすごく頼りになり、励ましてもらったことで、このような状況にもなれることができました。

養成塾は、たくさんの方に支援されて成り立つことができるということが実感しました。何も知らない私にもいろいろな角度からの切り口や学び方を教えていただき、一生の財産になりました。

終了し、しばらく経った今、支援していただいた皆さんに感謝の気持ちを持てるようになりました。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

マハティール・モハマド氏の講義です。

事前に資料があったので、すんなりと講義に入れたのかもしれませんが。

そして、そこで学んだことは、将来リーダーになるためには、周り道は怖くないということと、情報発信力（日本の弱み）を強くしていかなければならないということです。そして、一番大切にしていくことは、人の気持ちになって考えるということです。いろいろな国の現実や課題を知識として知っても、私はすぐに忘れて自分のことに意識を向けてしまいます。これからは、そのようなことを知ったら、忘れずに考えて、追及していこうと思います。そこから目を背けずに世界を知っていかなければいけないし、これからの次代を担う私たちに課せられた宿題だと思いました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

普段、交流することのない同年代の外国の方と交流することができました。

それぞれの国でおこっていることや実際に活動していることなどを英語で話すことできたのは、貴重な体験になりました。自身の英語力と知的な知識の無さを痛感しました。

ただ、言葉がわからなくても自分の今の気持ちを伝えたいという思いがあれば、何とかコミュニケーションをとれることがわかり、普段から自分の意見を簡潔にまとめること、それを英語で表現する練習がいることを実感しました。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

まず、一番身近な目標として、学生リーダーのように、自分のやりたいことのために希望の大学に行くこと、留学をしたいとさらに強く希望するようになりました。

そのためにも日本のこと、アジアのことをきちんと学び、それを発信できるようになりたいと思います。また、今起きている戦争はもちろん、過去の戦争についてもきちんと学ぶことが大事だと思いました。

自分の夢をかなえるためにも、今回学んだ知識、話し合い、発表の仕方などを今から実践していきたい。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

北海道の夏はとても過ごしやすいことがわかりました。

そこから、若者が東京に行かなくても同じ条件で学んだり、働くことができる環境を整えば、もっと活性化することだと思います。やはり若者がいない地域は、どんどん廃れていくと思います。

その上で、気軽に東京などに遊びに、仕事に行けるようになるといいと思います。

若い人は、移動に何時間もかけることは苦手なので、飛行機を安く利用できると絶対にいいと思います。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

たくさんできました。留学すること、自分の意見を伝えること、起業して、最終的には社会貢献できるようになりたいと思いました。

★保護者の方から

今回の事業に参加させて頂き、ありがとうございました。

子どもは寮生活をしていますので、連絡や課題の提出などいつも遅くなっていて、ご迷惑をおかけしたかと思います。準備等もなかなか手伝えることもできない中でしたので、本人も本当に参加できるのか不安でいっぱいだったようです。

そんな状況のスタートでしたので、たくさんの人に支えられて、最後まで参加できたことに感謝している様子です。2週間のプログラムで、多くの人がそれぞれの役割を担い、協力しあうことで、将来を担っていく力、発表の仕方など多くの成長があったと感じています。また、戦争がなくなる理由を考えるなど、普段できないグローバルでかつ根本的な勉強をできたと思います。

このような事業を今回初めて知りましたが、とても有意義で参加できて良かったと思います。

ありがとうございました。

★学校の先生から（遺愛女子高等学校 川嶋 聡 先生）

毎年クラスの生徒を参加させています。

とても良いプログラムです。

このプログラムが今後も継続されることを強く願っています。

福本 あめり さん

(札幌聖心女子学院高等学校 3年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

特に印象に残っていることは「アジア・ハイスクール・サミット」です。今年は「戦争はなくせるのか」について、クラスで課題と解決策を議論しました。私が所属した3組ではウクライナ侵攻に注目し、「政府による情報統制がなく正しい情報を得ることが出来たら戦争を食い止められるのではないか。」という視点から中立な立場で世界の情報を発信する国境なき記者団の存在の周知を広めること、「伝伝 TELLTELL プロジェクト」という企画を考えました。みんなが同じ方向を向き、それぞれに平和について考えることができたが、一人ひとり持っている意見が違うからこそ、衝突もありました。それらを乗り越えて15分間の発表を終えたとき、大きな達成感と団結力を実感しました。携帯電話など電子機器の使用が禁止されている中、情報化社会に生きる私たちが、すぐ調べるのではなく仲間と考えを出し合い試行錯誤し、答えを導き出すというとても貴重な経験でした。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

特に感銘を受けた講義は宗像大社の葦津敬之さんの講義です。葦津さんは宗像大社の宮司でもあり、環境について活動されている方です。宗像大社では多くの環境問題が問題視されていましたが、気候変動サミットや稚魚放流行事のような独自の取り組みによって意識と環境を改善することに成功したというお話を伺いました。二酸化炭素を削減するためには自然を再生するのだという思いを忘れずに行動することが大切だということに気づきました。私も環境問題について深く考えて行きたいと思います。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

AFSの留学生との交流を通して、様々な観点による意見を伺い、新しい価値観に出会うことができたと思います。タイやブータン、インドネシアなどアジアを中心とした様々な国からの高校生と文化について交流し、日本にはないような習慣や留学生から見た日本の印象などを話しました。日本、そして海外の国の魅力を知りました。いつか彼らの国に行って郷土料理や文化を肌で感じてみたいです。また、改めて英語学習の重要性を痛感しました。留学生の皆さんは母国語に加えコミュニケーションをとる共通言語として英語を流暢に話しており、とても驚きました。私も英語などの日本語以外の言語の勉強を頑張ろうと強く思いました。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

養成塾の期間中、学生リーダーによる「リーダーシップとは」という特別授業があり、グループのメンバーとして人一倍、共感し、説得させるなどフォロワーとして集団を導いていくことも、考え次第ではリーダーシップであるということを知ったと同時に、私もそのようなリーダーになりたいと思いました。また、私たちは失敗を恐れて途中で諦めてしまう事がありますが、「失敗は成功のもと」という言葉があるように、ミスを恐れずどんどん挑戦していくことが大切なのだ学びました。これからいろいろなことに挑戦し失敗を恐れずに頑張りたいと思いました。このほかにも書ききれないほど得たことはあります。これらのリーダー塾で得た経験を今後の日々の生活や高校、大学で活かしていきたいと強く思います。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

北海道の魅力をより多くの人に伝えていくことが大切だと思います。リーダー塾ではたくさんの全国から集まった高校生と地元の話をしたりもしました。その時に北海道について知っている高校生は少なく『広い！雪が降る！』といったイメージでどんな場所があるのかなどを知らない人が多くいました。そして私たち自身も北海道の魅力をアピールするほど詳しく知らないという事に気づきました。北海道は広くそれぞれの市によって気候も有名なものも変わってきます。だからこまらず自分の住んでいる市について知り、他の地域に住む人に伝えていくことで、北海道に興味を持つ人が増えると思います。そして、地域活性化につながると思います。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

私はこのアジア・ハイスクール・サミットで「国境なき記者団」というNPO団体を初めて知りました。彼らはメディアの規制によって拘束されてしまったジャーナリストの救出や支援などを行い、報道の自由を守っており、中立的な立場から情報を世界各国に発信する活動も行っています。私は明確な言葉で今の現状を発信することは難しい事だと思います。しかし、世界中のどこかで報道の自由を奪われたり、知る権利を失ったりしている人がいるという今の現状を変えるには彼らの活動が必要とされています。また、戦争を食い止めるためにも正しい情報を得ることは大切なことだとアジア・ハイスクール・サミットの際にクラスでの話し合いで導きました。だからこま私は国際的な問題に関わるジャーナリストになり、その後「国境なき記者団」の一員として自由さを奪われてしまった方々の権利回復のために貢献したいと思うようになりました。

★保護者の方から

新型コロナウイルスが流行する中、リーダー塾が開催できたことを嬉しく思います。真夏の北海道と九州の平均気温の差は大きいですが、体調を崩すことなく2週間を過ごすことができました。コロナ禍で対面でコミュニケーションを取ることが難しい中で、感染予防を徹底し実り多き時間を過ごすことができましたと思います。普段伺うことができない講義や同世代の仲間との出会いはとても貴重な経験であり、今後に役立てて欲しいと思います。

★学校の先生から（札幌聖心女子学院高等学校 漆崎 琴 先生）

高校入学以来、国内外の出来事に対する興味・関心が強く、これまでも多くの研修プログラムに参加してきました。高校最後の年にリーダー塾で、様々な分野の第一線で活躍する方々の講話を伺ったことで、将来取り組みたい研究分野が定まり、進学希望大学・学部・学科を明確にすることができたようです。

今は受験結果を待っている段階ですが、今後に向けてますます意欲的な姿勢は同級生・下級生に良い影響を与えていると感じます。

貴重な機会の提供とご指導に心より感謝申し上げます。

植本 空楽 さん

(北星学園女子中学高等学校 3年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

全国から集まる高校生たちの志が高いことです。大抵の人が目標や目的を明確に持っていて、リーダー塾で沢山のことを吸収しようと努力し、成長している姿が印象的でした。自分の成長は自分で気づくことは難しいですが、2週間一緒にいると、友達の努力と成長を大いに実感することができました。時には、気が緩むことがあり、礼儀がなくなっていたり、だらしなさが見受けられ、叱られることもありました。しかし、改善しようという全員の志が高く、友達同士でも黙食の際に話している子がいたら注意をしたり、こう改善した方がよくなると言ったことを話し、実践していたりしていたことがとても印象的でした。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

国境なき医師団である村上大樹さんの講義に感銘を受けました。「無関心は人を殺す」この言葉に圧倒されました。世界で起きている沢山の問題に、自分は直接関係することではないと思っている人は少なくないし、その無関心によって助ける事ができた命さえも失っていることも知らない人がいることに恐ろしさを感じました。関心を持ったところで何が変わるのかといった疑問を持つ人もいるでしょうが、関心を持ち調べただけでその問題が多くの人に問題視されるようになり取り組みの仕方が変わると思いました。今私たちにできることは、多くの問題に関心を持つこと。このことに講義を通して気付かされました。また、村上さんが私たちに託してくださった「周りに無関心という空気を作らない」この使命は果たさなければならぬので、自分からアクションしていきたいと思うようになりました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

私は、多様性を最も感じました。まず、こんなにも多くの高校生たちが平和についてや、これからの世界について真剣に考えていることに驚きました。私には考えられないようなバックグラウンドを持つ子がいたり、将来のビジョンを語れる子が多くいたりしたことも衝撃的で、とても刺激的な日々となりました。また、ひとりひとりが異なった意見を持ち、異なった視点から物事を考えていたことから多様性を感じることができました。沢山の講義を受講した中でも、講師の方によって戦争に対する考え方が違うことがあって、多様な視点を見ることができました。ただ考えるだけではなく、アクションをすでに起こしている子もいて、自分の至らなさを痛感しました。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

得た沢山の知識を自分の中だけで留めておくのは勿体無いので、学校の友達や家族など自分の身の周りの人から伝えていきたいと考えています。村上大樹さんの講義でもあったように、無関心という空気を周りに作らないことということが今貴重な経験をして帰ってきた私たちに求められていることであると思います。

また次の世代に伝えるということも、日本の次世代リーダーになる上で、必要不可欠であると思うので、後輩にもリーダー塾の学びを伝える機会を設けられると良いと考えています。また、高校を卒業し、大学に進学してもリーダー塾での学びは絶対に忘れることはなく、人生における糧として様々な場面でリーダーシップを発揮していけたらと思います。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

北海道の少子高齢化は年々進行しています。その中で、数少ない若い世代が自分の地元にもっと関心を持ち、自分の地元を誇りに思うことが必要だと考えます。佐賀県知事の講義を受講した際に、佐賀県と北海道に繋がりがあることを初めて知りました。私を含め多くの北海道民は地元の歴史についてや、魅力を知らなさすぎると感じます。そのようなことから、まずは住民が地元について知り、広めていくことが北海道の活性化に繋がると思いました。

また、治安を良くすることが必要だと感じます。通学途中、路上喫煙をしている大人が多く、朝から気分が悪くなり、時には頭痛を引き起こすこともあります。加えて、公共交通機関の使い方など守れていない人々が多くいるように感じます。このような細かい点から道民に呼びかけ、改善していくことでより魅力的な場所になると思います。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

大学は国際教養を学べる大学に入り、紛争地の子供たちへの教育の提供を研究したいと考えるようになりました。また、青年海外協力隊などといった国際ボランティアに参加し、実際に途上国に行って子供たちの社会復帰を支援するような活動をしたいと考えています。それらの経験を活かし、JICA 職員になりたいと考えています。ここでは、紛争地の子どもたちへ教育を提供する環境創りに携わりたいと思います。これらを踏まえ、私の最終目標は国際連合教育科学文化機関で働くことです。今後の目標としては、リーダー塾の学びを無駄にすることなく様々な場面で活かしていくことです。また、リーダー塾に参加する前に掲げた理想のリーダー像になれるように日々努力していきたいと考えています。

★保護者の方から

多少の緊張感を持ちつつ、期待に胸を膨らませて飛行機に乗って飛び立っていったように思います。養成塾に参加させていただき、一生忘れることのない貴重な経験をさせてもらいこれから先目指すもの、自分のやりたいことが明確になったのではないかと感じております。また、全国各地の沢山のお友達もできて、楽しい素晴らしい夏になったことと思います。このような機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

★学校の先生から（北星学園女子中学高等学校 専門英語科教諭 藤原 功生 先生）

リーダー養成塾への参加により、自主性・積極性が大きく伸長したと感じます。幼少からダンスに取り組み高い表現力を有し、友達思いかつマイペースな性格から、先輩後輩問わず多くの生徒から慕われる存在であり、生徒の中心にいることが多くリーダーとしての優れた適性を持っていました。一方で本人にはその自覚が強くなかったため、リーダー養成塾への参加をすすめたという経緯がありました。リーダー養成塾では数少ない高校3年生であったということもあり、必然的にチームをまとめる機会に恵まれ、本人もリーダーとしての気質を意識するようになったと思います。参加後は、学校における様々な企画で中心的役割を果たしてくれています。素晴らしい仲間との出会いは、何事にも代ええぬ経験であったと思います。

木下 美那 さん

(北星学園女子中学高等学校 3年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

リーダー塾に参加して三日目を迎えた夜、クラスのみんなで外の芝生でお話をしました。初対面で緊張してましたが、みんなで沢山笑って話したのを今でも覚えています。お互いをもっと知るためにお互いに質問し合い、こんな面があったんだ！こんな面白いところがあるんだ！など話して気づいたところが沢山ありました。その日以降みんなとっても仲良くなってよりみんなの絆が深まったと思います。私はその時のことがリーダー塾で1番印象に残っています。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

私は南野先生の講義にとっても感銘を受けました。私は今まで法律や憲法などに興味を持っていませんでした。しかし南野先生の講義を聞いて、初めて法律や憲法の話に面白い、もっと学んでみたい！そう感じるようになりました。日本と世界では憲法や法律の違いが数え切れないほど存在していること、社会が法律によって成り立っていることにとっても興味を持ち、大学でも法に関する学びを深めていきたいと思い、自分の大学選択に大きな刺激を与えました。南野先生の講義を聞いて、私は法律や憲法についてグローバルな視点から沢山の知識を増やして、国際社会に貢献できる人間になりたいと思えました！

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

多くの留学生は多種多様な国から集まり、それぞれが自分の考えを持っていて、話してとても刺激を受けました。自分の英語力を発揮することに少し緊張しましたが、相手に自分の伝えたいことが伝わった時はすごく嬉しかったです。よく言語の壁という言葉が聞きますが、たしかに国が違えば言語も違うし、文化も違います。ですが、多くの高校生が自分から話しかけて積極的に自分をアピールして理解を深めようとしている姿を見て、言語の壁があってもそれを難なく越えてくる高校生が全国にこんなにもいるのだと正直驚きました。私もそのためにもっと自分の英語力を磨き続けていこうと心に決めました。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

私はリーダー塾で自分の人生にとってかけがえのない経験を沢山積むことができました。最終日には全員が目標宣言をして、リーダー塾を終えたあと、自分がどうしていきたいかを述べていました。私は将来国際社会に貢献できる人間になりたいと言いました。リーダー塾での経験は私にとって大学選択や将来自分が何をしたいかということにおおきな変化を与えました。自分がリーダー塾に参加してそのような経験を得たからこそ、自分が決めた道はとことん突き進んでいきたいと思いました。自分がやりたいと思えたことに全力で取り組むことが今の私に必要なのではないかと感じました。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

北九州環境ミュージアムに行った時、私は北九州市が取り組んでいる環境問題対策にとっても感銘を受けました。それは年々増えていくプラスチックゴミの減少のために種類別に分けられたゴミ袋や、大気汚染を対策するために大気を綺麗な状態にたもつ機械の制作など、環境問題に対する意識の違いが北海道と北九州では大きくあると思いました。北海道は自然豊かな場所であるからそこ、自然を守り、環境を守っていくことは必要不可欠であると感じました。そのため北海道でも環境問題に対する対策をより積極的に行うべきだと思います。道民一人一人が環境問題に関するボランティアに積極的に参加することや、環境問題の告発などできることは沢山あります。私もそのようなことをどんどん SNS などを通じて道民の皆さんに伝えていきたいと感じました。そして北海道がより豊かな自然を取り戻し、多くの観光客が北海道に来たい！と思ってもらえるようにしたいです！

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

自分の言葉でより正確で、より分かりやすく人の心に残る語りができるアナウンサーになり、平和な社会の実現に貢献していきたいと思っています。今回リーダー塾を通して国際平和について改めて考え、自分ももっとこのような問題に取り組んでいきたいと感じました。法というものに興味をもてたからこそ、国際社会で起きている様々な問題に対して法という視点から大学では法学を学んでいきたいと思っています。そして、国際社会で通用する法知識を学び、将来国際社会と安定した社会の実現に貢献できるアナウンサーを目指したいです。まずは学校指定校推薦で第一志望の大学を勝ち取り、自分の夢へ1歩近づきたいです。

★保護者の方から

この度は、大変貴重な体験をする事ができた子供を見て感じております。生涯の友と呼べるほど大切な仲間と出会えた事、沢山の講師の先生達の貴重な講演を生で聞けたこと、これら全てが子供にとってとても意味のある体験だったと実感しております。また大学進学を見据え将来に対する目標が定まっていなかった子供に一つの光が差したというか、この道を進んでみようという新たな道が開けました。

リーダー塾を開催して下さった事務局の方をはじめ、講師の先生、チームをアテンドして下さった卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。心から感謝しております。

★学校の先生から（北星学園女子中学高等学校 専門英語科教諭 藤原 功生 先生）

リーダー養成塾への参加により、他者と協調・協働しつつ意見をまとめつつチームを引っ張っていくリーダーシップが身についたと思います。明朗快活な言動やいつも元気な様子で、周囲から促されるままにリーダーの立場に身を置くことが多かったですが、その反面、自分自身の言動には自信を持ってないところがあり、判断に時間を要し悶々としている様子も見られました。今回のリーダー塾では、問いに対する他者の多様な考えを認めつつ、対話により最適解を導くプロセスを数多く経験したことにより、自主性や積極性が身についたと思います。

清水 桜 さん

(北星学園女子中学高等学校 3年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

初日の武道場に入った時の景色は忘れられません。全国の情熱を持った高校生たちが一堂に会している空間に（北海道推薦枠は到着が遅かったため最後列の席に着席しました。）足を踏み入れた時、ワクワクと緊張感が入り混ざって異様な空間に感じました。私は、初めからリー塾には特別な思い入れがあって臨んだため、初志貫徹で一瞬たりとも無駄にせず果敢に挑戦することを決意していました。ですので、初日に行った「リー塾の目標宣言」ではピリついた緊張感の hands を挙げて発表しました。自分の中での目標を少しずつ乗り越え自己肯定感をあげる2週間のスタートを切れたと思います。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

市川さんのご講義に刺激を受けました。帰省後、市川さんに個人的な相談をさせていただきましたが、お忙しいのにも関わらずご丁寧にご回答くださり、講義以外でもその人となりで感銘を受けました。学生時代の市川さんの姿が、高校生の今の私に重なりました。他者と違う道を選択する勇気や目標をブレずに抱き続けることの困難を乗り越えられた方のお話を拝聴し、モチベーションになりました。自分の人生の出来を他人のせいにはしない、自分で責任を持つ自覚を持てば、挑戦が怖く無くなるという市川さんのお言葉を心に留めて頑張ろうと思いました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

語彙力に富んでいたり学力が優れていたりする人は要約力や状況把握力、伝えたいことを正確に伝える力に優れていました。語彙力が乏しく自信がない私は発言する際にうまく伝えられなくてもどかしい気持ちになることがあり、悔しかったです。傾聴するかに優れている仲間、突出した鋭い意見を述べられる仲間など多種多様な価値観が混在しておもしろかったです。私のクラスは、全体的に協調力が高いので、空気を読んでオブラートに包みながら発言したり輪を乱さないように気を張ったりする面がありました。活発な議論を行うにはそのバランスが必要なのだと実感しました。書記であった私は、全員が議論に追いつけるよう分かりやすい黒板を作りました。また、書記は議論の最中に全体を俯瞰できるので一人一人の表情や行動を観察し、困っている子、発言を躊躇している子、不満げな子に手を差し伸べクラスの輪を繋ぐ重要なポジションを担っていたと思います。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

養成塾では、自分の成長を客観視する経験をしました。昨年のサマースクールで人生を変えるような挫折をし、そこから得た学びを1年間実践してきました。その成果がリー塾という新たなコミュニティに混ざった時、露わになりました。この経験から、見栄を張って格好をつけたり、自分をよく見せようと演じて作ったものではなく有り体の私には強みがたくさんあるのだと知りました。これからの数ヶ月間は、大学受験という人生最大の過渡期に入ります。他者とは異なる道を選択し自ら退路をたった私にとって自分を信じて突き進むことが今最も求められるものだと思います。だからこそ、リー塾でのこの経験はそのままの自分を信じて乗り越えるための活力にしようと考えています。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

リー塾で道外の友人と話した際に、北海道は彼らの地元よりも電車賃が高いことが話題になりました。私は道外で過ごす経験が乏しいのでそこに意識は向いていませんでしたが、過疎化や一極集中化によって交通機関も採算が合わないのが原因であると考えました。より観光業を発展させ北海道に移住しようとする人々を増やすことが札幌、石狩管内外の過疎化を防ぐ方法だと思います。そのために、SNSを活用して魅力を発信することを提案します。公務員の方が発信するという従来の一般的な案ではなく、発信できるのは道民全員です。道民一人一人の地元愛を育めば、自ずと北海道について道外の知り合いに話したり各自が訪れた場所をSNSで投稿したりすることも増えると思います。その結果、北海道の魅力が生活者視点で伝わり、意外な良さの発見もあると思います。今日では1人一台のデバイスが当たり前ですので有効な手立てだと考えます。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

今後の目標は、11月に行われる国際教養大学の学校推薦型入試で合格通知をもらうことです。リー塾に参加したことでこの目標が確固たる、揺らがないものになりました。私のやりたいことの明確化や自分の人生は自分で責任を持つという自覚が芽生えたことで、挑戦する勇気をもてました。私の学校は進学校ではないこともあり、周囲が指定校推薦で進学を決めます。その空気感に流されないよう、また受かる保証のない茨の道を選んだことを後悔せぬよう、できることをひたむきにやり切ろうと思います。それから、合格後は、学校からいじめを根絶し学校を児童・生徒全員の居場所にできる教師になるために同大学でひたすら学びに明け暮れる日々を送りたいです。あの憧れの中嶋記念図書館で徹夜をしたり、カリキュラムの一つの一年留学でスウェーデンの大学に留学し、世界水準の教育を享受したりすることを通して、多様性に寛容で広範な知識に富んだ人間になることが今の私が描く理想の自分です。それに向かって、毎日の受験勉強を精一杯こなし情熱を維持します。絶対にこの目標を実現し、来年の夏には、リー塾のような場所で大学生として高校生のサポートをしていることを願います。

★保護者の方から

やる気が途切れることなく、前向きに日々過ごしています。リーダー塾で経験したこと、学び、本人なりに創り上げてきたことは受験を目の前にした今、精神的に大変役に立っていると見て取れます。2週間という長い時間を費やすに値する経験だったと親の目からは感じています。たくさん子どもたちを安全に預かるのは大変な労力と存じます。ありがとうございました。

★学校の先生から（北星学園女子中学高等学校 専門英語科教諭 藤原 功生 先生）

リーダー養成塾に参加し、他者と共感・協調・協働する力が身につきました。当初から留学に向けて高いモチベーションをもって勉強に励んでいました。高い学力を有し、その維持向上にも余念がなく、自分と切磋琢磨し合えるライバルの存在を必要としていました。リーダー養成塾に参加し、全国各地から集まる優秀な参加者と寝食をともにしたことで、いっそうのモチベーションを得るとともに、学校で自分がリーダーとなってクラスメートを引っ張って行く姿勢が見られるようになりました。多忙な日々の中にあっても、学校行事に向けてチームをサポートする等、献身的な姿勢も身についたと思います。

伊藤 溪花 さん

(北海道登別明日中等教育学校 2年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

私が養成塾に参加して最も印象に残っていることはアジア・ハイスクール・サミットです。今年のテーマは「戦争はなくせるか一次世代がつくる平和への道しるべ」で、戦争のない平和な世界を未来の世代に残すためにこれから世界を担っていく私たちには何ができるのかを1クラス20名のクラスごとに議論し、発表しました。とても難しく、正解のないテーマについて議論することは、クラスの全員がテーマに真剣に向き合い、自分の考えを持っていたからこそとても大変なことでした。しかし、議論を進めていくうえで妥協しなければならないところもあるということや、時間配分が大切だということを知ることができました。また議論や発表にクラス一丸となって取り組むことでクラスのきずなが深まり、心の許せる仲間になったと思います。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

私がかつても感銘を受けたのは、前内閣国家安全保障局国家安全保障参与の宮川眞喜雄さんの講義です。宮川さんは「世界の地殻変動 - 新たな対立の時代 - (ウクライナ情勢と国際関係への影響など)」というテーマで講義をしてくださいました。世界の変動を様々な視点から分析しているご講義にとっても興味を持ち、外交や社会というものの難しさ、また私がそれらの問題についてとても浅く考えてしまっていたことがわかりました。講義の中で特に印象的だったことは、かつて日本は資源がないなりに優秀な人材・技術者を育成していたが、今は海外に人材が流出してしまっているということで、グローバル化が進む今日でも日本人を大切に政治をしてほしいと思いました。また、私たち次世代も日本を大切にする必要があると感じました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

アジア各国や全国からの参加者との交流を通じて私は、「当たり前」はないということを感じました。文化や気候、その他の些細な点でも育った環境が違うだけで、当たり前だと思っていたことが他の人にとっては当たり前でないことがとても多く、毎日驚きの連続でした。また、私は全国からの参加者と交流することで将来に向けてのモチベーションが上がりました。私は今まで苦労して大きなことを成し遂げたという経験をあまりしたことがなく、一つのことを必死になって続けることが苦手です。しかし、養成塾で出会った仲間たちはたくさんできることがあるにもかかわらず将来に向けて努力していて、私も頑張ろうと思うことができました。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

私は何も知らずに、何も考えずに生きるよりも、何かを体験したときに他の物事に結びつけて考えられたり、新しい知識を吸収できたりするほうが楽しく生きられるのではないかと考えています。なので、この養成塾で受けた講義やフィールドトリップで得た知識を、日常の中で人生がより豊かになるように活かして

いきたいと思います。また、おもにアジア・ハイスクール・サミットでは真剣に議論をすることの難しさや、議論を管理することの難しさ、発表において伝えたいことを正しくきちんと相手に伝えることの難しさなどを学びました。そこででた反省点や、改善点を今後議論する場面において忘れずに活用し、これからも成長していきたいです。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

私は、北海道を活性化するためには札幌以外の地域の活性化が必要だと思います。養成塾で二人の県知事の方の講義を受けて、様々な方面での支援システムや、地域の名物を生かした活性化の方法などを紹介していただきました。北海道は土地が広いので、市町村単位での支援や活性化がメインとなります。その際、例えば北海道内の移住で主に支援や生活の便利さによって札幌を選ぶ人が多いのではないかと思います。札幌以外の地域もそれぞれの特産品があったり、豊かな自然があったりととても良いところばかりです。しかし、移住するとなると支援や生活の便利さを重視するのでしょうか。まずはそれぞれの地域の強みを生かしたイベントや特産物をで紹介し、全国に広めて財源や雇用を増やし、そこから生活支援の充実などに繋げて札幌だけ SNS 等でなくほかの地域の活性化をしていくことが必要だと思います。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

私の将来の夢は、心理学を活用して正しい判断ができる法曹になることです。法曹になりたいという夢は中学1年生の時から抱いていました。そして最近、心理学に興味を持ち、心理学を法曹になった際に活用できないかと考えましたが、そのためには相応の努力が必要で大変であるため自分にはできないだろう、という思いから諦めようとしていました。しかし養成塾に参加して、著名な方々は本当にたくさんの努力を何歳になっても続けられているということを知り、まだ高校生の私は何事も諦めてはいけなと感じました。また、冤罪を被ってしまった方のお話を聞いたことで法曹になりたいという思いが強くなり、全国の高校生がたくさんの努力をしていることを知って、私も頑張ろうと思いました。養成塾で出会った同じような夢を持つ仲間とも交流し、励ましあいながら、この経験を無駄にしないよう夢に向かって努力していきたいと思います。

★保護者の方から

参加前、事務局からの資料を見ながら毎日「楽しみ」と口にしてたわが子。学んで議論して2週間ぶりに家に戻ってきた様子は、充実感と自信に満ち溢れているようで、大きな成長を感じました。日本の高校生だけではなく世界中の高校生と会うことができたのは、かけがえのない経験で、視野が広がったようです。コロナ禍の大変な中、現地開催していただき、本当にありがとうございました。

★学校の先生から（北海道登別明日中等教育学校 島田 大樹 先生）

学校以外の志の高い多くの同世代の人たちと触れ合うことで、自らの進路実現のための良い動機づけとなった。また、進学も北海道内だけではなく他府県も視野に見られるようになった。

また、「日本の将来を担う」ということに実感を持つとともに、そのために何ができるのか、何をすべきなのかを考えるきっかけとなった。

竹谷 海音 さん

(北海道登別明日中等教育学校 2年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

養成塾で、最も印象に残っていることは、高校生の質の高さです。私はリーダー塾に参加する前までは、学校の友達に気を遣いすぎて毎日疲れて家に帰っていました。しかし、リーダー塾に参加していた高校生たちは、視野が広く、判断力も優れているので、どれだけ議論が白熱しても険悪な雰囲気にならず、むしろ議論を楽しむことができました。これは、私の人生の中で初めての経験だったので、最も印象に残っています。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

株式会社一平ホールディングス代表取締役社長の村岡浩司さんのご講義です。自分はもともとネガティブな性格で、自分の将来に希望を持てませんでした。しかし、村岡さんが自分を信じる大切さを教えてくれました。村岡さんは吃音症を患っているのですが、今はそれを克服していらっしゃいます。村岡さんが吃音症を克服するまでのお話を聞いて、自分のことを嫌いなのは人生損しているなと前向きな気持ちになれました。私は、自分のことが嫌いになるたびに、一生村岡さんのご講義を思い出すとします。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

全国の高校生の質の高さに驚きました。私はリーダー養成塾に参加する前までは、学校の友達に気を遣いすぎて毎日疲れて家に帰っていました。しかし、リーダー養成塾に参加していた高校生たちは、視野が広く、判断力も優れているので、どれだけ議論が白熱しても険悪な雰囲気にならず、むしろ議論を楽しむことができました。これは、私の人生の中で初めての経験でした。いつもの私なら、このことに劣等感を感じて落ち込んでしまったのですが、リーダー養成塾期間は友人からたくさんのポジティブなパワーをもらって最後まで元気にやり抜くことができました。リーダー養成塾が終わった今も、尊敬する友人たちに誇れる自分でいられるように日々生活しています。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

私はリーダー養成塾を通して、集団をまとめるには判断力、視野の広さ、決定力、欠点が必要なことを学びました。私は学校で、部活動のキャプテンや、クラスの副 HR 長を務めているのでこれらの力を身に付け、これからの学校生活に還元していきたいと考えています。また、幸せを生み出すには自分を信じるが必要不可欠だと学んだので、将来たくさんの人を幸せにするために、まず自分を大切にるところから始めようと思いました。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地域の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

私は、地元を出て都市部に就職する若者を減らせば地域が活性化し、魅力的な場所になると思います。まず、若者が都市部へ就職するのは、地方では雇用先が少なく、自分たちの力ではそれを改善できないという思いがあるからだと考えます。そのため、市役所で地域活性のために行われていることを市民に公開したり、市役所職員がその地域の学校を訪れ、町づくりについての授業を行えばよいと思います。また、高等学校での探究活動を活発にすることも有効だと考えます。私の学校では、自分たちの地域の課題を解決することが目標として設定されているため、この探究活動を他の学校でも行えばよいと思います。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

養成塾の期間中、友人やクラスの先生、ボランティアの大学生の方々とたくさん進路について話し合いました。学校の友人や先生には話していないような深い内容のことも話しました。そこで気が付いたことは、やりたいことをやって良いということです。私は地元が大好きで将来は地元で貢献したいと思っています。しかし、服飾の仕事も諦めきれず、大学に進学するか専門学校に進学するか悩んでいました。だから両方頑張ることにしました。大学に通いながら服飾の技術を身につけ、自分の将来の可能性を広げようと思います。大変だとは思いますが、養成塾で目標に向かって努力する楽しさを学びました。相談に乗ってくれた方々の期待に答えられるように尽力したいと思います。

★保護者の方から

地元にいるだけでは感じる事ができなかった感情、物、人を色々と知ることができたと思います。とくに「ありがとう」と言えるようになったりと、離れたことで当たり前なのに気付くことができたと思います。また、本音を言い合える友達や、相談に乗ってくれる大人の存在ができたのもよかったと思います。

★学校の先生から（北海道登別明日中等教育学校 島田 大樹 先生）

もともと自分に自信を持つことができなかったため生徒であるが、今回の経験をとおして人前で発言する意欲を身に付けることができた。様々な地域からの学生との交流を通じて、多種多様な価値観があることを実感するとともに、それらを尊重しながら自らの意見を述べる経験を積んだ。

また、英語の重要性をより一層体感することで、日頃の授業に精力的に参加している。

伊藤 胡晴 さん

(北海道幕別清陵高等学校 3年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

全国から来た高校生の子たちがこれからの日本を担っていく次世代として本当に優秀な人材が集まっていて中には起業している高校生や将来の夢に向かって高い目的意識を持っている人達がいる中で一人、一人が違う良さを持っていたこと。リーダーとは言っても前に立つだけでなく、冷静な判断で意見をすることや周りをまとめる統率など多様なリーダーの形があることに気付き、養成塾の中ではその気付きが印象的だった。そして私はこの二週間、決して自分一人では気付かなかった自分の力や周囲の助けによって、人は短期間でこんなにも成長できるのだと気付かされた。自分が考えていた以上に学ぶことが多かったことが私にとって最も印象に残った。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

東京大学准教授 佐橋亮先生の講義。

佐橋先生の講義では主に米中関係と貿易摩擦の中で揺らぐ国際社会と徐々に停滞していくグローバル化について講義を受けた。グローバル化の急速な崩壊の原因として物流の停滞や経済制裁、技術面での対立があげられ、徐々に広がっていきつつ見えるグローバル化は米中関係によって狭まっていくことを学んだ。その他にも国際政治に感情的な憎しみは関係ないことや利益、利害の一致で対立関係にあったとしても立場を急変させる可能性もあること、そして現在日本がロシアに対し、行っている経済制裁の効力として制裁自体に戦争を止める力はなく、即効性はないが後々戦争を止める足掛かりにはなることなど、実際に専門家の視点から話を聞く信憑性など、国際社会を考える上で必要な知識を学ぶことができた。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

生まれた場所や人種、言語の違いは相手と対等な立場で積極的にコミュニケーションをとることで乗り越えられるということを自分の中で実感できた。これまで養成塾以外の活動を通して自分の中で他者との多様な違いは分かり合うことが難しいのかどうか、分からなかった面があった。周囲の人たちでは自分と似た環境で育った人も多く、違いを見つけられず自分の考え方に確証が持てずウクライナ侵攻の件もあり、周囲の人にも「文化や国の違いは埋められない。」「完璧に分かり合うことはできない。」と言われることもあったが、今回の養成塾ではアメリカから来た日本人の子やかけはしプロジェクトの留学生と交流する中で自分から歩み寄り、話し合いや議論の中で意見を擦り合わせることでお互いを分かり合うことは可能だということを学んだ。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

私は今回の養成塾での経験が人生の価値観を大きく変えてくれた。人の交流を通じた利害関係のない純粋な絆、一秒が成長と失敗の日々はあの二週間でしか経験できなかった。私は大学で国際的なボランティア活動にも取り組みたいと考えているが、その活動の中で今回学んだ人との協調や世界で活躍するために活用できるものは全て使っていくことで広げていくコミュニティの構築を通して自国以外の人々へ社会の楽しさを伝えることに生かしていきたい。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

北海道は日本で土地面積が広く、多様な観光産業や食文化が芽生えていますがその反面、生かし切れていない良さが多いと養成塾を通して感じた。それは佐賀県知事からの講義で地域活性のためには自分たちの価値を生かすことが必要だとおっしゃっていた。各地域にはそれぞれの良さがあり、特性がある。ただ北海道は土地の広大さから観光客が都市部に集中してしまうことで北海道の魅力が100%伝わっていないのではないだろうか。そのため、国内外に限らず観光客が道内を回りやすいように地方観光バスの割引券の発行、地方への観光客増加のために目立ちにくい地方でもふるさと納税品をSNSで精力的にアピールしていくことが必要ではないだろうか。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

私は将来、外交官になって世界の最前線で仕事がしたい。ウクライナ侵攻や停滞していく日ロ関係、悪化する経済の現状をニュースや新聞で間接的に知るのではなく、実際に現場に立って活躍している講師の方からの講義で学んだ世界のリアルな視点、高い目標意識を持つ仲間ができたことで自分も将来、こんな人達と肩を並べていきたいと思った。私はそのために今後、大学へ進学し国際関係の知識の向上、国際ボランティア活動への参加の中でさらに自分の人生観や価値観を変えていくことで自分自身と周囲の人たちに良い影響を与えられる存在でありたい。

★保護者の方から

参加前に修学旅行や表敬訪問など忙しく万全の体制では無い状態と、学校から一人の参加で知人もいない環境で不安そうでしたが、13泊14日後の姿は最後まで参加した仲間との別れを惜しみながら涙している姿に本当に楽しかったのだと思いました。一生の楽しい経験と友人も出来て参加前後の世界観が変わって、自分のやりたい事を見つめ直した様子で、目標もしっかり持ってくれました。今年は大学受験を控えていますので、この経験がこれからの将来において役に立っていくと思います。全国の自分と同じ歳の高校生を見てこれではいけないと感じてくれた様子で、勉強にも力を入れるようになりました。今回参加できて本当に良かったと思いました。

★学校の先生から（北海道幕別清陵高等学校 舘 盛拓 先生）

本人は、志の高いメンバーと寝食をともにし学習することで、大変刺激になったようです。自分の足りないものや現在地を俯瞰してみるきっかけにもなり、帰校してから意欲的に学習に励む姿が見られました。

工藤 凜 さん

(立命館慶祥高等学校 2年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

マレーシア元首相のマハティール氏と宮川眞喜雄氏の意見が反対だったことです。軍拡についてマハティール氏は、平和のために軍備を拡張することは絶対にしてはいけないと語って下さいました。一方で、宮川氏は「私たちが武器を持っていなかったとしても攻めてくる場合があるため、勢力の均衡を保つことが大切」と語って下さいました。私は両方の方の意見にも納得がいきいってしまい、その話からとても考えさせられました。どちらの意見が正しいということではありませんでした。私は今もこれからの時代、軍拡すべきか否か自分の中で考え続けています。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

佐賀県知事である山口祥義氏の講演がとても印象に残っています。講演内容や話し方から、本当に佐賀県を良くしようとしておられると感じました。そして誰よりも佐賀の魅力を知り愛しているのだなと伝わりました。私は来年から選挙に参加できるので、もし自分が投票するならこのような方のためにしたいと心から思いました。今まで、海外で働くことや日本全体のために働くことを目標としていましたが、地元のために生きるということも選択肢に入れる機会になりました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

違う県で育っただけで方言や生活など様々なことが違うのだと気づかされました。関心のある問題についてもやはり違いがあることが興味深かったです。沖縄出身の高校生は沖縄のアメリカ軍基地について、道民の私は、北方領土問題について関心がありました。お互いの知識や考えも含めて交流できて良かったです。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

自分が得た経験はもちろん周りの人に伝えていきたい。プレゼンをする機会があればぜひ行ってみたい。また、次に私が海外の大学へ進学する時にここで得たものを役立てたい。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

北海道の広さは良くも悪くも大きな力を持っていると思います。各都市間の連携を密に図り、横のつながりを発展させたら良いのではないかと思います。例えば、交通網を発展させるだけでなく、各地域の特産物同士を組み合わせた商品を作ってアピールしたり、高校生をリー塾のように2週間ほど交換したりすれば良いのかなと考えました。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

リーダー養成塾に参加する以前から海外の大学に進学することは決意していました。偶然にも私の志望する King' s College London から来た学生リーダーさんとお話をする事ができました。大学でのお話を聞いて益々、その学校に行きたくなりました。今までぼやけていた思いが明確な目標になりました。将来は教育分野から世界や日本を盛り上げたいです。さらにいずれは北海道のために従事していきたいと考えています。

★保護者の方から

養成塾に参加し、世の中を大きな視点で見ることが出来る様になったと感じています。専門的な知識や技能を持つみな様に触れ、他者に対する尊敬の念をより持つようになった。

いつか十代の自分を振り返った時、この養成塾が自分を成長させてくれたと実感してくれると思います。本当にお世話になりました。

★学校の先生から（立命館慶祥中学校・高等学校 副校長 山口 太一 先生）

コロナ前に参加した韓国でのリーダー育成プログラム、コロナ禍で挑戦した1年間のカナダ留学など、これまでも積極的に行動し知見を広め成長してきた生徒です。今回の養成塾を経て、これまでも秀逸であった社会課題に対する問題意識や行動意欲にさらに磨きがかかった印象を受けています。養成塾で得た学びや同世代から得た刺激を、どのように自分の進路につなげていくのか今から楽しみです。

白間 あかね さん

(立命館慶祥高等学校 2年)

★養成塾に参加して、最も印象に残ったことは何ですか

全国から集まった志の高い仲間たちと出会えたことです。生まれ育った地域が全く異なり、話す言葉にも違いがある。そんな彼らと議論をしたり話をしたりした2週間、初めて知ったことや新たに発見したことがたくさんありました。彼らと出会い自分の世界が広がったように思います。リーダー養成塾に参加していなければ決して会うことはなかったであろう彼らと出会えたこと、一緒の時間を過ごせたことに感謝しています。素晴らしい仲間たちに恵まれ、今まで過ごしてきたどの2週間よりも充実した2週間を過ごすことができました。

★最も感銘を受けた講義について教えてください

被爆二世でいらっしゃる柿田富美枝さんの講義が最も印象に残っています。被爆者の高齢化に伴い被爆体験をお話しされる方が少なくなっている中、その被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、伝え続けていらっしゃる柿田さん。中学2年生の時に広島原爆資料館を訪れてから平和について興味を持ち、被爆者の方からお話を伺ったり、平和をテーマとした弁論をしてきた私にとって、柿田さんからお話を聞くことができたことはとても貴重な経験になりました。また、「今日の聞き手は明日の語り手」という柿田さんのお言葉を聞き、被爆体験伝承者養成事業にも興味を持ちました。戦争を体験したことがない世代が被爆体験を伝えるということは非常に難しいことだと思いますが、柿田さんのお話を聞いて、私も平和をつくっていくために尽力したいと思いました。

★アジア各国や全国からの参加者との交流を通して、得たことや感じたことは何ですか

英語の重要性、そして英語を使うということの楽しさを実感しました。今まで学習してきたことが役に立っていると実感することができ、帰宅後、より英語の学習に力が入るようになりました。また、全国、世界からの素晴らしい仲間に出会うことができ、「みんなに負けないように私も頑張ろう」と思うことができるのではないかと思います。日本全国、世界各国に仲間がいると考えるだけで心が温かくなりとても心強く感じます。この出会いや交流は私にとってとても大きなものになったと思います。

★養成塾で得た知識や経験を、今後どのように活かしていきますか。

私は、リーダー養成塾に参加する前までは、自分の意見に自信が持てなく、他人の意見に同意して終わってしまうということが多かったように感じます。ですが、養成塾で温かい仲間、環境に恵まれ、自分の考えを人に伝えるということへの抵抗がなくなったように思います。その経験、成長をリーダー養成塾だけでとどめてしまうことがないように、リーダー養成塾での経験を思い出しながら生活していきたいと思います。また、何かにつまずいてしまったときには日本全国にいる仲間たちのことを思い出し、前に進んでいくことができるように頑張ります。

★養成塾での様々な経験を踏まえ、自分の地元を見つめ直した時、北海道や地元の地域を活性化し、より住みやすく、魅力的な場所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

私は、道民一人一人が地元の魅力、北海道の魅力について知ることが、地元の、北海道の活性化につながっていくのではないかと考えています。今回私はリーダー養成塾に参加したことで、今までは当たり前だと思っていた北海道の魅力というものに気が付きました。当たり前だと思っていたことが当たり前でなかったことを知ったとき、初めて私たちはそのありがたさに気が付くことができるのではないのでしょうか。そのため、地域や北海道をより魅力的な場所にするためには、道民が外の世界に飛び出し、たくさんの経験をすることが必要だと思います。

★養成塾に参加したことでできた、将来の夢や今後の目標を教えてください。

地元で貢献することができるような医師になりたいという夢を持っていましたが、今回リーダー養成塾に参加し、国境なき医師団としてご活躍されている村上大樹さんのお話を聞いたことにより、地元から世界へと視野が広がりました。また、将来リーダー養成塾の仲間たちと再会したときに、胸を張っていることができる存在になりたいという新たな目標ができました。その目標を達成することができるように、自分の夢に向かって学び続けていきたいと強く思います。また、今回リーダー養成塾に参加して、自分はたくさんの人に支えられているということに気が付きました。自分の周りの人達に感謝の気持ちを持つだけでなく、その感謝を人に伝えることができるような人でありたいと強く思います。

★保護者の方から

研修参加前は、自分の考えに自信が持てず、自ら発言することが少なく、他の人の意見に同意してしまうことが多かったように思います。参加後は、自分の思いを他の人へ伝えることの難しさを改めて知り、どうしたら伝えることができるのか、伝えることの意味を深く考えるようになったのではないかと思います。「ただ伝えるのではなく伝わるように」と話す娘を見て、この研修に参加させていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

★学校の先生から（立命館慶祥中学校・高等学校 副校長 山口 太一 先生）

これまでも学校の諸活動に積極的に取り組み、自己研鑽につとめてきた生徒です。また、所属する弁論研究部での活動をベースに、インプットとアウトプットを繰り返しながら深く考えることができている。今回の養成塾では、同世代の熱量と志の大切さに心打たれたようです。今回受けた刺激を自分の成長につなげられる生徒ですので今後の成長が楽しみです。早速、11月には復興庁が主催する東北でのフィールドワークに北海道代表で参加すると聞いています。